

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス のこのこプラス		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がされている。	個別支援計画書、及び専門的支援計画書に関して保護者の方へ書面を確認しながら説明を行っています。又、中学生以上のお子さんには「本人のための計画書」を作成し、分かりやすい言葉で説明を行っています。	今後も、ご本人や保護者のニーズを踏まえた計画書を作成し、職員全員で情報を共有しながら目標達成に向けて支援を行っています。
2	子どもの事を十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	個別活動(学習・課題・作業)と集団活動と活動のプログラムを職員全員で考えています。個々に準備を行い、それぞれの目標達成に向けて活動しています。	保護者の方からのニーズを汲み込みながら、子ども達からの「できた」「わかった」を増やして達成感を味わってもらうようスモールステップを意識しながら支援を行っています。
3	事業所の支援に満足している。	個人活動(学習・課題・作業)は集中して取り組み、集団活動では協調性を学ぶ、余暇の時間は思いきり楽しく遊ぶようメリハリを意識して活動しています。	個人活動、集団活動を通して子ども達が楽しく学び「楽しかった」と感じてくれる工夫を考えて、笑顔で過ごしていくように心掛けていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているのか、また、こども達の活動に合わせた空間となっているかが分からない。	毎日職員で掃除を行い、定期的(週1回)玩具の消毒を行うことを徹底しているが、子ども達のいない時間帯を利用している為気づかれていない可能性がある。	清掃のチェックシートを作成し、貼りだす事で清掃及び消毒をしていることを視覚化し、清潔且つ心地よく過ごせる環境を心掛けていきます。カーペットの色を変えて活動空間を分けている事も伝えていきます。
2	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営が図れていない。	以前、行事参加をチラシで案内したことがあったが参加がなかった事で、それ以来あまり積極的に参加を案内する事がなかった。	のこのこショップなど地域の方に案内できる行事はポスターなどでお知らせをするようにしていきます。又、同系列の他事業所の子ども達との交流をきっかけに開かれた運営を行っています。
3	父母の会の活動の支援や保護者会の開催等により、保護者同士の交流の機会を設けるなど家族や兄弟への支援がされていない。	兄弟に対する支援は行ってないが、保護者会は年に1度以上の頻度で他事業所と合同で行っているが、認知されていない可能性がある。	日程やテーマを早く決める事で、お便り以外に送迎時や面談時を利用して保護者の方々へしっかりと周知していきます。